

平成26年度 事業報告書

I 事業報告

1 事業概要

平成26年度の日本経済は、年度前半は消費税率引き上げ後の駆け込み需要の反動減の影響もみられたが、年度後半は雇用・所得環境の改善や政府の経済対策の効果などにより、景気は緩やかな回復基調がみられた。

埼玉県内の景気動向もこれらの影響を受け、緩やかな持ち直しの動きがみられた。

このような中、当社は、今後の成長が期待される産業の振興や、企業の国内・海外での販路開拓支援など、中小企業の発展と県内産業全体の活性化に資する様々な事業の展開に努めてきた。

平成26年度に実施した主な取組の概要は以下のとおりである。

(1) 経営基盤・体力強化支援

① 経営革新の促進

自社の現状分析や課題の整理、業績や経営資源の向上など、県内中小企業が抱える様々な課題に対応するため、アドバイス並びに情報提供を行ったほか、専門性が高い課題の解決を支援するため専門家派遣を実施した。

② サービス産業の振興

今後成長が期待される介護・福祉関連分野に関してセミナーや交流会等を通じて情報提供を実施するとともに、コーディネーターを中心に支援先企業へのアドバイス、専門家派遣、資金調達相談などを行い、サービス産業の振興を支援した。

(2) 販路開拓支援

① 取引の振興

広域的な商談会や大手企業との商談会などを開催するとともに、受注登録企業の最新の設備状況等を調査し、特色・技術力を積極的にPRして効果的な取引あっせんを行った。また、職員等が発注企業へ巡回訪問して新規発注案件を発掘し、受注企業とのマッチングを図った。

② 海外展開支援

県内中小企業の海外市場への進出を支援するため、実務経験豊富なアドバイザーによる貿易投資相談や様々なセミナー、情報交換会を実施したほか、海外展示会において海外企業との商談をセッティングするなど県内中小企業の海外展開を支援した。

(3) 技術競争力支援

① 次世代自動車産業支援

県内の自動車関連企業に対し、次世代自動車の技術研究や既存自動車の高効率化、軽量化に向けた技術開発、製造現場の改善、国内外の自動車メーカー等への販路拡大などを総合的に支援した。

② 産学連携支援

県内中小企業やベンチャー企業の研究開発と大学や研究機関等の研究分野をマッチングさせるため、相談窓口を開設するとともに、競争的研究資金の獲得を支援するなど、産学連携による研究開発を総合的に支援した。

③ 知的財産支援

県内中小企業等の知的財産の創造・保護・活用を促進するため、ワンストップで知的財産に関する相談業務に対応するとともに、弁理士等の専門家を企業に派遣し、個別課題の解決を支援したほか、知的財産に関する啓発や知識の向上を目的としたセミナーなどを実施した。

(4) 人材の育成支援・情報提供

階層別研修や実務研修などを開催し、県内中小企業の人材育成を支援するとともに、情報誌やセミナーなどを通じて企業経営に役立つ情報を幅広く提供した。また、ITコンサルティング等を実施して中小企業におけるITの有効活用を支援・促進した。

(5) 創業・ベンチャー支援

創業予定者や新規創業者を対象とした相談業務や、各ステージに合わせた創業セミナーを開催するとともに、ベンチャー企業の成長を促進するためのビジネスマッチングを支援した。また、国の補正予算により創設された創業補助金の地域事務局を運営した。

2 評議員会開催状況

日付	事項	摘要
平成26年 6月11日	第1回評議員会	平成25年度事業報告及び決算並びに理事の選任
平成26年 9月18日	第2回評議員会	評議員及び理事の選任

3 理事会等開催状況

日付	事項	摘要
平成26年 5月21日	監事監査	平成25年度事業報告及び決算報告の監査
平成26年 5月26日	第1回理事会	平成25年度事業報告及び決算並びに中期経営計画等
平成26年 6月11日	第2回理事会	理事長及び専務理事の選定
平成26年 8月13日	第3回理事会	評議員及び理事の選任に係る評議員会の招集
平成26年10月22日	第4回理事会	平成26年度事業中間報告及び理事長専決事項の報告
平成27年 3月20日	第5回理事会	平成27年度事業計画及び予算並びに平成27年度事業費の借入限度額等

4 評議員の異動状況

就任

役職名	氏名	就任年月日	備考
評議員	佐伯 鋼兵	平成26年9月18日	

退任

役職名	氏名	退任年月日	備考
評議員	松永 功	平成26年9月18日	

5 役員の変動状況

就任

役職名	氏名	就任年月日	備考
理事	中尾安志	平成26年6月11日	
理事	町田秀夫	平成26年9月18日	

退任

役職名	氏名	退任年月日	備考
理事	池田一義	平成26年6月11日	
理事	栗原正巳	平成26年9月18日	

Ⅱ 事業実施状況

1 経営基盤・体力強化支援

(1) 経営革新の促進

① 経営相談の実施

職員等による窓口相談、弁護士による法律相談を実施した。

相談件数	主な相談内容	
2,027件	経営全般(含・その他)	1,320件
	I S O	185件
	マーケティング	170件
	経営革新計画	136件
	技術	94件
	取引適正化	81件
	資金	41件

② 支援専門家の派遣

ア 専門家派遣を行うため、支援専門家の登録を実施した。

支援専門家の登録者数	内 訳	
499人 (平成27年3月31日現在)	中小企業診断士	232人
	企業等OB人材	135人
	マネジメントシステム専門家	49人
	I T関係専門家	43人
	一級建築士・販売士・弁理士・弁護士	38人
	技術士	34人
	社会保険労務士	32人
	公認会計士・税理士	27人

*複数資格保有者がいるため、登録者数と内訳の合計は一致しない。

イ 経営、技術、情報などに関する課題解決のため、支援専門家を活用して診断助言を実施した。

(ア) プロジェクトマネージャー、サブマネージャーの配置 4名

(イ) 支援企業数、派遣日数等

支援企業数	派遣日数	主な支援テーマ
50社	263日	<ul style="list-style-type: none"> ・QCサークル活動の活性化 ・生産性の向上 ・製造原価低減 など

ウ 経済産業省関東経済産業局で実施している「地域プラットフォーム事業ミラサポ」の専門家派遣を活用して、経営革新に取り組む中小企業に対して診断助言を実施した。

支援企業数	派遣日数	主な支援テーマ
26社	52日	<ul style="list-style-type: none"> ・経営革新計画作成支援 ・資金繰り、経営改善計画の作成支援 ・売り上げ不振に対する支援 など

③ 事業継続計画(BCP)導入支援

地震や風水害などの自然災害、火災、IT・ネットワーク障害、新型インフルエンザによる

従業員の集団感染などに遭遇したとき、自社の重要業務を中断せず、また中断しても早期復旧を図るため緊急時の対応方法・手段を事前に取り決めておく、事業継続計画(BCP)の普及・啓発及び策定支援を実施した。

セミナーの開催

開催日	テーマ	講師	参加者
8月26日	事業継続計画(BCP) 初級レベル「訓練計画書」作成演習	黄野 吉博 氏	40人
11月26日	事業継続計画(BCP) 中級レベル「訓練計画書」作成演習	黄野 吉博 氏	29人
2月18日	事業継続計画(BCP) 上級レベル「訓練計画書」作成演習	黄野 吉博 氏	28人

④ 若手経営者支援【フォース21】

県内中小企業の後継者・若手経営者の交流クラブ「フォース21」を運営し、経営トップとしての資質の向上、人的ネットワークづくりや情報収集体制の構築等について支援するため、定例会並びにテーマ別研究会を開催した。(平成26年度末現在9グループ、101名)

内容	実績
定例会の開催	4回
テーマ別研究会の開催	
精神修行研究会	1回
経営者向上研究会	3回
グループ別例会	52回

⑤ マネジメントシステム導入支援

ア マネジメントシステム導入支援

ISO等のマネジメントシステムを構築しようとする中小企業へのコンサルティングを実施した。

事業名	実績	概要
ISO等認証取得支援	6社	ISO9001(品質)5社 JISQ9100(航空宇宙)1社

イ ISOフォローアップ支援

ISO認証取得企業へのフォローアップを実施した。

事業名	実績	概要
品質マネジメントシステム (ISO9001)	6社	派遣回数 9回

ウ 環境法規制関連情報提供

公社会員を対象に、環境法規制の関連情報を提供した。

利用会員数
87社

⑥ 経営診断等事業

公社在籍の中小企業診断士を活用し、川口市、戸田市から中小企業の経営診断等を受託した。

事業名	実績	概要
経営診断	3件	製造業、卸売業、サービス業
特別相談会	4日間	相談件数 9件
創業計画診断	1件	製造業1社
地域貢献事業者診断	9件	企業6社、3団体（組合、商店会等）
新技術研究開発支援業務	2件	企業2社

⑦ 事業承継支援

事業承継の重要性を広く知らしめるとともに、事業承継相談に対応するため、中小企業基盤整備機構との共催により事業承継セミナーを開催した。

開催日	テーマ	講師	参加者
2月10日	成功事例から学ぶ事業承継ポイント	松林 伯尚氏（独立行政法人中小企業基盤整備機構 関東支部 事業承継コーディネーター）	10人

⑧ よろず支援拠点事業

県内中小企業・小規模事業者の経営支援体制をさらに強化するため、国の中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業を受託し、埼玉県内の「よろず支援拠点」の実施機関として、総合的・先進的経営支援を実施した。

ア コーディネーター、サブコーディネーターの配置	11名
イ よろず支援拠点来訪相談対応件数	1,360件
ウ よろず支援拠点課題解決件数	599件

(2) サービス産業の振興

① サービス産業の成長支援

生活の質の向上に資する介護・福祉や子育て、食などの分野において、埼玉県が支援先として選定した企業に対してコーディネーターを中心にアドバイスを行い、企業の成長を支援した。

ア コーディネーターの配置	6名
イ 支援企業数	23件

② セミナー・交流会の開催

埼玉県立大学と連携して、生活サポート産業に関する業界動向の提供、経営力向上等を目的としたセミナー及び交流会を開催した。

開催日	テーマ	講師	参加者
12月18日	生体力学的適合性に優れた義足ソケットの開発 温泉とハイキングを活用した健康増進プログラムの開発	埼玉県立大学理学療法学科 教授 原 和彦 氏 秩父温泉株式会社 代表取締役 山口 浩人 氏	55人

③ フードビジネスの展開

県内食品産業の販路開拓や食品ブランドの創出を目指した活動を支援した。

ア フードビジネス研究会の開催

内 容	実 績
研究会の開催	5回
分科会の開催	
販路開拓	5回
機能性	5回
ハラル	5回

イ FOOD EXPO 2014（香港）の出展支援

商談件数 189件

成約件数 6件

ウ FOOD EX JAPAN 2015の出展支援

商談件数 253件

成約件数 17件

2 販路開拓支援

(1) 取引の振興

① 取引情報の収集・提供

厳しい経営環境下にある受注企業の取引機会の拡大を図り、健全な発展を促進するため、積極的な企業巡回訪問による経営支援及びニーズの把握に努めるとともに、発注企業の外注計画や受注企業の設備状況等に関する調査を実施した。また、中小企業が抱える取引上の様々な相談に対応し、下請取引の適正化を図った。

ア 受発注企業の登録促進

発注・受注企業の登録状況

(単位：社)

区 分		発注企業	受注企業	合 計
25年度末の登録		1,720	3,232	4,952
26年度中 の増減数	新規	36	58	94
	削除	3	22	25
26年度末の登録		1,753	3,268	5,021

受発注企業巡回訪問の状況

事 業 名	実 績	概 要
受発注企業巡回訪問	581社	アドバイザーによる巡回訪問 215社
		職員による巡回訪問 366社

イ 調査情報提供

取引あっせん・紹介を行うための基礎情報として、主要発注登録企業における外注計画等の動向を把握するための調査や、受注登録企業における最新の設備・取引状況等の実態を把握す

る調査を行った。

事業名	実績	概要
新規外注計画調査	2回	発注企業を対象に新規外注計画等を調査 ① 5月15日～31日 調査対象企業1,051社 回答企業171社(回答率16.3%) うち発注希望あり104社(60.8%) ② 11月15日～28日 調査対象企業990社 回答企業173社(回答率17.4%) うち発注希望あり116社(67.1%)
受注登録企業設備調査	1回	受注登録企業を対象に保有設備等を調査 9月18日～9月30日 調査対象企業1,101社 回答企業268社(回答率24.3%)

ウ 企業情報の発信

インターネットを利用して広域的な受発注取引の促進や新たな取引機会の拡大を図るため、情報発信を希望する企業を会社のホームページに掲載した。

内容	実績	概要
企業情報の発信	818社	会社ホームページに企業情報を掲載

エ 異業種グループ支援

異業種グループの定例会等に参加し、情報提供とともに中小企業のニーズ把握に努めた。

オ かけこみ寺相談事業

下請取引に関する様々な相談に応じた。

相談件数	主な相談内容
124件	代金支払遅延、契約解消 ほか

② 展示商談会の実施

受注企業の取引機会の確保を図るため、発注企業を招いた各種商談会や中小企業の加工技術・製品等を展示し広くPRする「彩の国ビジネスアリーナ2015」を実施した。

また、産業技術総合研究所との商談会を実施するとともに、関東5県合同商談会、9都県市合同商談会を実施して広域的な取引機会の拡大を図った。

ア 商談会の開催等

事業名	実績
広域商談会	関東5県合同商談会 9月2日 東京ビッグサイト 発注企業114社/受注企業231社うち県内48社 商談件数250件 九都県市合同商談会 1月15日 幕張メッセ 発注企業83社/受注企業183社うち県内40社 商談件数195件

事業名	実績
	彩の国ビジネスアリーナ2015広域商談会 1月28日、29日 さいたまスーパーアリーナ 発注企業30社/受注企業79社 商談件数267件
大手メーカー商談会	独立行政法人産業技術総合研究所 10月30日 参加企業23社 商談件数197件
彩の国ビジネスアリーナ 2015	1月28日、29日 さいたまスーパーアリーナ 出展数780小間(企業、団体、グループ619社) 入場者16,989人
地域別商談会	西部地域ミニ商談会 10月8日 狭山市市民会館展示室 発注企業22社/受注企業46社 商談件数139件 東部地域ビジネスマッチングフェア2015 2月16日 ふれあいキューブ 発注企業7社/受注企業25社 商談件数48件
展示会出展支援	機械要素技術展 6月25日～27日 出展企業4社 名刺交換数591件 国際ナノテクノロジー総合展 1月28日～30日 出展企業7社 名刺交換数538件

イ 展示会活用促進

展示商談会における効果的な出展方法のセミナーを開催した。

事業名	実績	概要
展示会活用セミナー	1回	3月23日 公社 研修室A 参加者 20人

③ 取引あっせん

企業からの取引あっせん依頼への対応、展示商談会の実施等により、151件の取引を成立させた。

あっせん件数及びあっせん結果

(単位：件)

あっせん件数			あっせん結果			
本年度	前年度からの繰越分	合計	成立	不成立	折衝中	合計
2,709	2,444	5,153	151	2,618	2,384	5,153

(2) 航空機産業参入支援

① 航空機関連セミナーの開催

航空機産業への参入を促進するために、技術動向や参入に関するセミナーなどを実施した。

事業名	実績
航空機産業参入支援 セミナー	第1回 6月6日 航空宇宙産業概論及び中小企業における受注拡大・新規参入に向けての課題 参加者 16社・17名 講師 菊田鉄夫氏 (Aerospace K's consulting)
	第2回 8月28日 航空エンジン部品製造に参入するための留意事項と生産技術 参加者 17社・19名 講師 落合宏行氏 (IHI 航空事業本部)
	第3回 11月4日 航空機部品に係る国際品質マネジメントシステム 参加者 12社・15名 講師・JISQ9100 筒井俊一氏 ・Nadcap 上妻強志氏 (IHI 航空宇宙事業本部)
	第4回 12月11日、12日 IHIの航空機エンジンの取組 (工場視察) IHI相馬工場、ICC相馬工場 参加者 14社・19名
	第5回 3月12日 航空機製造技術の現状と今後の課題 参加者 12社・19名 講師 佐々木淳氏 小川修氏 (富士重工業 航空宇宙カンパニー)

② 航空機関連展示会の出展支援

航空機産業への参入を促進するために、販路開拓につながる国内外の展示会出展支援を実施した。

展示会名	実績
ファンボローエアショー 2014	7月12日～20日 出展企業 5社
エアロマート名古屋 2014	9月24日～26日 出展企業 3社
エアロマート・トゥールーズ 2014	12月1日～7日 出展企業 1社
彩の国ビジネスアリーナ 2015	1月28日、29日 出展企業 10企業・団体 (小間数44小間)

③ 航空機関連資格取得支援

航空機部品を製造する際に必要な国際的な認証資格（J I S Q 9 1 0 0、N a d c a p）の所得を促進した。

J I S Q 9 1 0 0 取得助成金申請受付 2社

*いずれも27年度に資格取得後、助成金交付予定

④ マッチング支援

航空機産業への参入を促進するために、販路開拓につながる国内の航空機メーカーとのマッチングを実施した。

マッチング名	実 績
(株) I H I	10月27日 出展企業 6社
富士重工業(株)	11月27日 出展企業 5社

(3) 海外展開支援

① 中小企業国際化支援

ア 海外事業相談 相談実績458件

実務経験豊富なアドバイザーによる貿易投資相談（毎週 火・水・金曜日）、上海ビジネスサポートセンター・アセアンビジネスサポートデスクへの取次相談、職員等による相談を活用して、企業の海外展開に関する様々な相談に応じた。

イ セミナー・交流会・研究会等の実施

グローバル市場で勝てる中小企業を育成するため、埼玉国際ビジネスサポートセンターが長年培ってきたネットワークを活かし、交流会や情報交換会等を通じて、中小企業間及び中小企業と支援機関との連携を強化し、中小企業の国際競争力の向上を図った。

(ア) 国際ビジネスセミナー 開催実績13回 参加者合計539人

開 催 日	テーマ	参加者
5月29日	アセアン経済セミナー	67人
6月27日 7月17日 8月20日	「強み発掘・発信力向上講座」第1弾	26人
7月24日	フィリピンセミナー	78人
9月 5日	パキスタンセミナー	34人
9月16日	欧州セミナー	47人
10月 1日 11月11日 11月20日	「強み発掘・発信力向上講座」第2弾	24人
11月14日	アジア経済セミナー	41人
11月19日	米国医療セミナー	28人

開催日	テーマ	参加者
11月25日	北欧ビジネスセミナー	38人
12月15日	スロヴァキアセミナー	13人
1月15日	米国セミナー	43人
1月22日	愛知淑徳大学 真田幸光教授が語る 「世界・アジア・日本経済の現状と今後の見通し」	63人
2月27日 3月11日 3月20日	海外販路開拓ビジネスモデル構築講座	37人

(イ) エクセレントカンパニー交流会 開催実績1回 参加者合計46人

開催日	概要	参加者
12月3日	講演「ドイツに学ぶものづくり中小企業のグローバル・ニッチ戦略」ほか	46人

(ウ) 情報交換会：先端技術情報交換会ほか 開催実績3回 参加者合計57人

開催日	テーマ	参加者
5月27日	中国事情情報交換会	21人
9月30日	中国事情情報交換会	25人
3月13日	中国事情情報交換会	11人

(エ) 中小企業海外展開研究会 開催実績19回 参加者合計283人

海外展開を希望する企業による業種や対象地域ごとの研究会を設置し、実践的な勉強会や情報交換を実施した。

研究会	開催回数	延べ参加者
医療機器グローバル研究会	8回	143人
台湾FA研究会	5回	59人
ASEANビジネス研究会	6回	81人

(オ) 国際情勢勉強会（愛知淑徳大学 真田教授を囲む会） 開催実績12回 参加者461人

ウ 海外での現地支援事業

埼玉県上海ビジネスサポートセンターや埼玉県アセアンビジネスサポートデスクと連携し、中国・アセアン市場進出等をサポートした。

概要	取次案件	主な取次内容
上海ビジネスサポートセンターとの連携	27件	情報提供15件 取引先発掘・紹介5件 現地活動支援3件 など

概 要	取次案件	主な取次内容
アセアンビジネスサポートデスクとの連携	107件	情報提供40件 取引先紹介27件 現地活動支援21件 など

② 海外展示商談会出展支援

今後の経済成長が見込まれる中国・アセアン等新興国においてビジネス展開できるよう支援するとともに、アメリカ、ヨーロッパ等先進国の成長産業分野への販路開拓を支援した。

ア 展示商談会出展支援

(ア) タイ金型共同進出事業支援

○第1回

期 間：6月16日～21日

場 所：タイ・バンコク

参加企業：3社、商談件数：30件

○第2回

期 間：2月8日～12日

場 所：タイ・バンコク

参加企業：3社、商談件数：18件

(イ) ベトナム展示商談会 (METALEX VIETNAM 2014) 出展支援

期 間：10月7日～12日

場 所：ベトナム・ホーチミン

参加企業：4社、商談件数：94件

(ウ) タイ・ティアワンメーカーとの商談支援

期 間：10月26日～11月1日

場 所：タイ・バンコク都周辺ティアワンメーカー

参加企業：6社、商談件数：13件

(エ) 中国ローカル自動車メーカー (奇瑞汽車) との商談支援

期 間：11月24日～27日

場 所：中国・蕪湖市

参加企業：25社、商談件数：179件

(オ) 北米医療機器展示会 (シカゴAACC) & ミネソタ商談支援

期 間：7月28日～8月3日

場 所：アメリカ合衆国・シカゴ及びミネアポリス

参加企業：6社、商談件数：64件

(カ) 北米医療機器展示会 (MD&Mウエスト2015) 出展支援

期 間：2月8日～2月15日

場 所：アメリカ合衆国・カリフォルニア州・アナハイム市

参加企業：7社、商談件数：223件

(キ) 台湾F A商談支援

期 間：11月4日～7日

場 所：台湾・新竹

参加企業：4社、商談件数：39件

(ク) 欧州自動車メーカー商談支援

期 間：2月8日～2月14日

場 所：ドイツ・シュツットガルト、フランス・ヴァランシエンヌ

参加企業：4社、商談件数：28件

(ケ) 食品展示会（FOOD EXPO2014）出展支援

期 間：8月12日～8月18日

場 所：香港

参加企業：9社、商談件数：189件

(コ) 自動車部品展示会（国際自動車部品展2015）出展支援

期 間：3月15日～3月24日

場 所：インドネシア・ジャカルタ市

参加企業：4社、商談件数：102件

(サ) 国際航空ショー（ファンボロー国際航空ショー）出展支援

期 間：7月12日～7月20日

場 所：英国・ファンボロー空港

参加企業：5社、商談件数：402件

イ 海外調査事業

(ア) 航空機産業調査（エアロマートトゥールーズ）

期 間：12月1日～12月7日

場 所：フランス・トゥールーズ

参加企業：1社

(イ) 新分野進出（浄水器）プロジェクト

期 間：2月8日～2月12日

場 所：タイ・バンコク

参加企業：7社

(ウ) 自動車産業海外進出プロジェクト

期 間：2月11日～2月15日

場 所：ミャンマー・ヤンゴン／タイ・バンコク

参加企業：9社

ウ 海外企業との技術交流会

(ア) 米国医療機器開発有識者招へい

期 間：1月26日～30日

場 所：さいたま市（さいたまスーパーアリーナ）ほか

参加企業：24社、商談件数：20件

(イ) 彩の国ビジネスアリーナ2015「グローバルビジネスゾーン」

期 間：1月28日、29日

開催場所：さいたま市（さいたまスーパーアリーナ）

参加企業：10ブース、商談件数：175件

3 技術競争力支援

(1) 次世代自動車産業支援

県内自動車関連企業を対象に、自動車の電動化・軽量化等に伴う技術開発、製造現場の改善、国内外の自動車メーカー等への販路開拓を促進するため、「次世代自動車支援センター埼玉」を運営し、技術革新が進む自動車関連分野への転換、参入ができるよう総合的な支援を実施した。

① 技術相談の実施

次世代自動車支援センター埼玉にアドバイザーを配置し、県内自動車関連企業からの自動車技術に係る相談にワンストップで応じるとともに、研究開発を促進するための国・県等の研究資金獲得を支援した。

内 容	実 績
自動車技術に関する相談件数	913件
技術開発テーマ取組数	20件

② 研究開発力強化の支援

ア 新製品・新技術研究会

県内自動車関連企業が、次世代の自動車産業に転換・参入できる技術を確立できるよう、モータやパワーエレクトロニクス、軽量化技術を研究する場である研究会を実施した。

(ア) モータ・パワエレ研究会（参加企業20社）

開 催 日	テーマ	参加者
6月4日	スポーツハイブリッドの開発	19人
8月22日	電動アシスト自転車の開発と課題	22人
10月15日	水素社会の現状と燃料電池部品開発の展開	18人
1月21日	48V化の現状と動向	13人

(イ) 軽量化研究会（参加企業22社）

開 催 日	テーマ	参加者
5月22日	自動車の軽量化動向／高機能性ポリアミド	40人

開催日	テーマ	参加者
7月10日	CFRPの直接射出成形（視察含む）	21人
8月20日	アルミ材の応用技術／マグネ合金の動向・実用化	41人
9月24日	BMWのCFRP車体／MC-β	42人
12月18日	F1エンジンの変遷と新パワーユニット	44人
2月19日	軽量化と軽合金鋳造技術	27人

イ 試作開発助成

製品・技術開発に取り組む県内の自動車関連企業に対して、試作品製作経費の一部を助成し、研究開発を支援した。

支援対象企業	5社
--------	----

ウ 車両分解研究会

参加企業が連携して最新車両の部品を分解調査解析し、最新技術や技術動向を理解することで今後の技術開発戦略や新たなビジネス展開を探るための研究開発を支援した。

参加企業数：28社

研究対象車両：フォルクスワーゲン／POLO

開催日	内容	参加者
9月10日・11日	試乗会・構造説明会	22人
11月5日・6日	発足式・車両分解見学会	102人
11月19日	講演会	81人
3月6日	最終報告会	30人

エ 技術講演会／先端企業見学会

自動車関連産業の最新技術動向や新しいビジネス分野の情報提供として講演会及び先端施設見学会を実施した。

開催日	内容	参加者
4月18日	JARI技術講演会／施設見学	30人
8月22日	第1回次世代自動車技術セミナー	36人
1月15日	本田技研工業寄居工場見学：先端企業視察	38人
1月29日	第2回次世代自動車技術セミナー：ビジネスアリーナ 2015自動車産業講演会	85人
3月13日	年次確認会：基調講演	28人

③ 製造現場力強化の支援

県内自動車関連企業による現場力強化研究会を設置し、参加企業が生産性向上や不良削減などの自社目標達成に向けた現場改善活動を支援した。

参加企業：15社

開催日	内容	参加者
7月4日	展開説明会	43人
9月12日	展開計画報告会	40人
12月5日	中間報告会	38人
2月13日	最終報告会	44人
3月27日	現場確認会	26人

④ 販路拡大の支援

大手自動車メーカー及びTier1メーカー等との商談会を実施するとともに、展示会への出展を支援した。

ア 国内における販路開拓支援

(ア) カルソニックカンセイ技術展示会

Tier1メーカーに対し、県内企業が新技術・工法等を提案する技術展示会を実施した。

内容	実績
開催日 9月9日 開催場所 カルソニックカンセイ 本社（さいたま市） 出展企業 展示20社／プレゼン4社	商談件数 234件

(イ) 本田技術研究所技術展示会

大手自動車メーカーに対し、県内企業が新技術・新工法等を提案する技術展示会を実施した。

内容	実績
開催日 12月11日 開催場所 本田技術研究所四輪R&Dセンター（栃木県） 参加企業 展示49社／プレゼン13社	商談件数 928件

(ウ) 彩の国ビジネスアリーナ

会場内に「次世代自動車ゾーン」を設け、自動車メーカー及びTier1メーカーと県内自動車関連企業の新たな取引を促進した。また、県内企業の試作開発品を展示した。

内容	実績
開催日 1月28日、29日 開催場所 さいたまスーパーアリーナ 招待企業 Tier1メーカー他 6社 試作展示 5社	商談件数 50件

イ 海外における販路開拓支援

(ア) タイTier1商談会

タイに進出している県内中小企業と現地Tier 1メーカーの商談会を実施した。

内 容	実 績
開催日 10月26日～11月1日 開催場所 バンコク周辺Tier 1企業 参加企業 6社	商談件数 13件

(イ) 中国自動車メーカー商談会

中国のローカル自動車メーカーに対し、県内企業が新技術・新工法等を提案する技術展示会を実施した。

内 容	実 績
開催日 11月24日～27日 開催場所 奇瑞汽車（安徽省無湖市） 参加企業 25社	商談件数 179件

(ウ) インドネシア国際自動車部品展

アセアン最大級の自動車部品・アクセサリ・サービスの展示商談会への出展を支援するとともに現地企業との商談会を実施した。

内 容	実 績
開催日 3月15日～24日 開催場所 ジャカルタ国際展示場（インドネシア） 参加企業 4社	商談件数 102件

(2) 産学連携支援

県内中小企業の新製品・新技術開発、新規産業への参入促進、技術競争力の強化を図るため、「産学連携支援センター埼玉」を運営し、中小企業からの産学連携相談、大学・研究機関とのマッチング、競争的資金の獲得など、産学連携に係る総合的支援を実施した。

① 産学連携相談等の実施

産学連携支援センター埼玉にコーディネータを配置し、県内中小企業からの産学連携相談に応じるとともに、大学・研究機関とのマッチング、共同研究体の形成や競争的資金の獲得などの支援を実施した。

内 容	実 績
産学連携相談件数	1,630件
マッチング支援数	281件
産学共同研究取組支援数	60件
競争的資金獲得支援数	33件 (うち獲得件数13件)

また、中小企業を対象としたセミナーを開催し、補助金等に関する最新の情報提供を実施した。

開催日	テーマ	内容	参加者
2月26日 3月4日	補助金活用 セミナー	・「中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業」を中心とした補助金制度等について	53名 47名
3月11日	産学連携支援 セミナー	・経済産業省による公募型競争的資金の最新情報とポイント ・埼玉県による先端産業創造プロジェクト及び公募型競争的資金の最新情報とポイント	52名

② 産学連携支援ネットワーク事業

県内で産学連携に取り組む機関で構成する埼玉県産学連携支援ネットワーク会議を運営し、情報交換や県内中小企業を対象としたセミナーを実施した。

開催日	テーマ	内容	参加者
6月19日	産学連携支援 ネットワーク 会議 「総会」	・平成25年度事業報告 ・平成26年度事業計画 ・構成機関における平成26年度産学連携事業	36名 (25機関)
2月17日	産学連携支援 ネットワーク 会議 「セミナー」	・講演会：「深海無人探査機『江戸っ子1号』プロジェクト～その時、産・金・学・官はどう考え、どう動いたか～」 講師：戸澤幸一先生 (芝浦工業大学 デザイン工学部教授) 会場：芝浦工業大学 芝浦校舎 ・江戸っ子1号筐体、パネル等見学・説明	40名

③ 産学連携に関する情報提供、交流の促進

大学・研究機関の技術シーズの展示紹介や企業とのマッチングを行う産学連携フェアを開催するとともに、メールマガジンによる情報発信を行った。

内容	実績
産学連携フェア<ビジネスアリーナ2015会場内で開催> 開催日：1月28日～29日 開催場所：さいたまスーパーアリーナ 出展機関：大学20、支援機関3	来訪者数 2,937名 相談件数 988件
産学連携支援メールマガジン	配信回数 18回

④ 医療系ものづくり産業埼玉プロジェクト推進事業

県内に集積する精密加工、光学関連企業等の持つ技術を医療機器関連分野に活用し、新たな研究開発・技術開発を推進した。

ア コーディネータ（2名）を配置し、研究資金の獲得支援
医療サポイン 4テーマ支援

イ プロジェクトによる研究開発の支援

- (ア) アレルギー検査機器の開発
10社・3大学・1研究機関が参加 15回開催
- (イ) 光学を応用した血液測定機器の開発
2社・1大学が参加 8回開催
- (ウ) 見守りロボットの開発
4社・1大学が参加 11回開催

ウ 産業イノベーション支援事業

コーディネータ（1名）の配置、埼玉バイオの研究成果の事業化を支援
 （独）医薬基盤研究所への申請 1テーマ
 コア研究室の維持管理による事業の推進

⑤ 次世代住宅参入推進事業

裾野の広い住宅産業に太陽光などの再生可能エネルギー産業を結び付け、次世代住宅（スマートハウス）産業への県内中小企業の参入を推進した。

ア 太陽光パネル関連部品開発プロジェクト研究会等の開催

内 容	実 績
新型太陽電池開発プロジェクト	研究会開催 11回 彩の国ビジネスアリーナ2015への出展
太陽光パネル改良プロジェクト	研究会開催 11回 彩の国ビジネスアリーナ2015への出展

イ 次世代住宅産業開発プロジェクトによる新技術、新製品に関する研究開発等の支援

- (ア) 地中熱ヒートポンプシステム技術開発プロジェクト
21社・3大学・2研究機関が参加 14回開催
- (イ) 高断熱ガラスフィルム技術開発プロジェクト
11社・1大学・2研究機関が参加 10回開催
- (ウ) 木質系断熱材技術開発プロジェクト
19社・2大学・3研究機関が参加 4回開催
- (エ) エネルギー・マネジメント・ソリューション（EMS）プロジェクト
6社・1大学が参加 3回開催
- (オ) 彩の国ビジネスアリーナ2015への出展
- (カ) 次世代住宅産業プロジェクト成果報告会の開催
 期 日：3月19日
 場 所：新都心ビジネス交流プラザ4階会議室
 参 加 者：85名
 内 容：地中熱ヒートポンプシステム、高断熱ガラスフィルム、木質系断熱材、EMSの各プロジェクトメンバーが一堂に会し、平成26年度の各プロジェクトの活動内容・活動実績など取り組み状況について発表した。

⑥ 戦略的基盤技術高度化支援事業＜公社管理法人分＞

経済産業省関東経済産業局の競争的研究資金を得て、県内製造業の国際競争力の強化と新たな事業の創出を目指し、中小企業のものづくり基盤技術（鋳造、鍛造、切削加工、めっき等）の高

度化に資する研究開発から試作段階までの取組を促進した。

ア 金属粉末成形用の金型潤滑油と塗布システムの開発

研究実施者	株式会社青木科学研究所、ポーライト株式会社、アルゴット株式会社、静岡大学、埼玉県産業技術総合センター、群馬県立群馬産業技術センター
平成26年度受託額	21,946千円
受託期間	平成24年度～26年度の3年間

イ 電動車用高性能・高電圧直流用新型ヒューズの開発

研究実施者	株式会社宇都宮電機製作所、株式会社ネモト・センサエンジニアリング、双信電機株式会社、大平電子株式会社、埼玉大学
平成26年度受託額	19,184千円
受託期間	平成24年度～26年度の3年間

ウ 世界初の中間酸化膜による新型NDフィルター及び一体型NDIRカットフィルターの開発

研究実施者	株式会社タナカ技研、宇都宮大学
平成26年度受託額	20,725千円
受託期間	平成24年度～26年度の3年間

エ 新冷凍システム技術による魚貝類の高品質・低コスト省エネ凍結システムの開発

研究実施者	中山エンジニアリング株式会社、株式会社エコニクス
平成26年度受託額	22,071千円
受託期間	平成24年度～26年度の3年間

オ 新規バイオ医薬（医薬候補ペプチド）探索・発見技術の高度化

研究実施者	株式会社ライフテック、ジェナシス株式会社、埼玉大学、長浜バイオ大学
平成26年度受託額	15,108千円
受託期間	平成25年度～27年度の3年間

カ 有機ケイ素化合物（シリコン）分野で世界初の製造過程で排出される廃棄物の有効利用

研究実施者	高圧システム株式会社、株式会社カレイド、バイオコーク技研株式会社、富士化学株式会社
平成26年度受託額	14,272千円
受託期間	平成25年度～27年度の3年間

キ 自動車マウント部品の樹脂化技術開発

研究実施者	PLAMO株式会社、有限会社三友金型工業所、群馬県立群馬産業技術センター
平成26年度受託額	13,757千円
受託期間	平成25年度～27年度の3年間

ク 新型成人用 HF0 人工呼吸器の開発及び ARDS 患者向け HF0 呼吸管理プロトコルの開発

研究実施者	株式会社メトラン、国立成育医療研究センター、岡山大学、高知大学、エンジニアリングシステム株式会社
平成26年度受託額	51,757千円
受託期間	平成25年度～27年度の3年間

ケ 低消費電力半導体の貫通電極ウエハボイドレス超高速めっき装置技術の開発

研究実施者	株式会社東設、大阪府立大学、奥野製薬工業株式会社、東北マイクロテック株式会社
平成26年度補助額	42,778千円
受託期間	平成26年度～28年度の3年間

コ 複合乳酸菌発酵法を利用した大豆を原料とする抗ストレス食品素材の開発

研究実施者	株式会社光英科学研究所、お茶の水女子大学
平成26年度補助額	37,964千円
受託期間	平成26年度～28年度の3年間

サ 医療現場改善と疾患早期発見に繋がるディスプレイ型内視鏡光学系の開発

研究実施者	株式会社渋谷光学、株式会社長津製作所、株式会社先端力学シミュレーション、独立行政法人理化学研究所
平成26年度補助額	19,322千円
受託期間	平成26年度～28年度の3年間

シ 医療・光学用金型の鏡面仕上げ技術の実用化開発

研究実施者	池上金型工業株式会社、東洋工学株式会社、独立行政法人理化学研究所
平成26年度補助額	36,413千円
受託期間	平成26年度～28年度の3年間

ス ゲル状めっきシステムの開発

研究実施者	吉野電化工業株式会社、早稲田大学、東京理科大学、埼玉県産業技術総合センター
平成26年度補助額	43,887千円
受託期間	平成26年度～28年度の3年間

(3) 知的財産支援

中小企業等の知的財産の創造・保護・活用を促進して「知的財産立県づくり」を進めるために「知的財産総合支援センター埼玉」を運営し、知的財産に係る相談業務をワンストップで行った。

① 知的財産の相談支援

知的財産に関する幅広い知識・経験を有する民間企業OBを知的財産アドバイザー（7人）、特許活用コーディネーター（1人：兼務）として配置し、相談に対応するとともに、知財普及員を2名配置し、案件の掘り起こしを行った。併せて、専門性の高い相談に対しては、弁理士・弁

護士による専門相談を実施した。

また、知的財産アドバイザーによる出張相談会を県内7会場において実施したほか、特許活用コーディネーター（1人）による技術ニーズに対する知財マッチングを行った。

内 容	実 績
相 談 件 数	2, 5 6 4 件<国からの受託事業1, 3 5 7 件を含む> (うち専門相談 5 1 件) (うち出張相談会 3 8 件) (うち知財普及員による訪問 5 4 件)
出張相談会開催回数	2 8 回 (川口、朝霞、川越、所沢、東松山、熊谷、春日部で各4回)
技術ニーズに対する知財マッチング件数	1 1 件

【相談内容（区分別）】

図1：知的財産区分

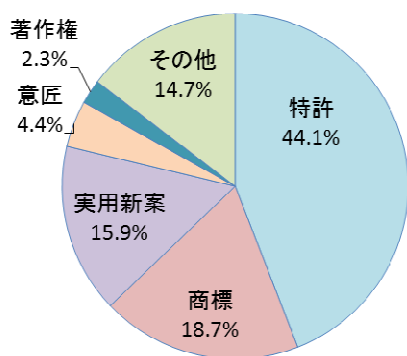
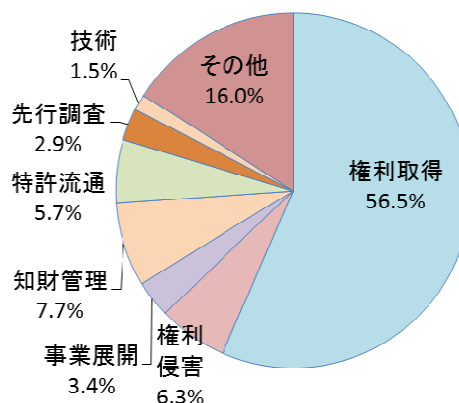


図2：相談区分



② 知財経営促進・人材育成

ア 知財専門家の派遣

知的財産を企業経営の中で戦略的に活用するため、弁理士等を派遣して、中小企業の知的財産に関する具体的な課題の解決を支援し、有望な知的財産の創造や効果的な保護・活用を促進するとともに、中小企業の知財活用体制強化の支援を行った。

支援企業数	支援回数
6 社	3 0 回

イ 外国出願支援事業

優れた特許等を有し、かつ、海外において戦略的に活用しようとする県内中小企業に対し、弁理士と連携を図り、外国特許庁への出願支援を行った。

国別の出願状況は、米国2件、中国1件、ドイツ1件である。

支援対象企業	内 訳
3 社 (特許 3 社)	国補助 2 社 (特許 2 社) 県補助<医療・福祉機器関連> 1 社 (特許 1 社)

ウ 企業内知財人材養成講座

中小企業の企業内において、知財経営推進の核となる知財人材を養成するため、訪問支援による講座を実施した。

主な内容は、知財の基本習得、特許電子図書館（IPDL）の活用方法、知財戦略等である。

支援対象企業
2社

エ 各種セミナー

知的財産に関する啓発や知識の向上を目的に、関係機関等と連携して海外知財制度セミナー、知財経営セミナー、知財入門セミナーを合計8回開催した。

開催日	内 容	参加者	共 催
12月 4日	【海外知財制度セミナー】 「海外における知財保護と技術流出対策」	29人	独立行政法人日本貿易振興機構
3月13日	【海外知的財産活用講座】 「ビジネス視点でみた海外展開における知財と経営」	18人	独立行政法人工業所有権情報・研修館
3月20日	【知財経営セミナー】 「モノづくり企業を活性化する4つの秘訣」	25人	広域関東圏知的財産戦略本部 (関東経済産業局)、特許庁、 埼玉県
3月 6日	【知財入門セミナー】 特許出願明細書作成講習会	10人	
10月16日 11月14日	【知財入門セミナー・地域】 知的財産セミナー 取得編 <さいたま会場> 活用編 <熊谷会場>	43人 35人	日本弁理士会関東支部 日本弁理士会関東支部、 熊谷商工会議所
2月23日 3月 4日	特許の基礎知識と有効活用	9人 8人	川口市

③ その他

ア 知財総合支援窓口設置事業

関東経済産業局からの委託を受け、知的財産に関する幅広い知識・経験を有する民間企業OBを窓口支援担当者（知的財産アドバイザーを兼ねる：7人）として配置し、知財に関する総合相談に対応した。

【再掲】

内 容	実 績
相談件数	1,357件

4 人材の育成支援・情報提供

(1) 人材育成

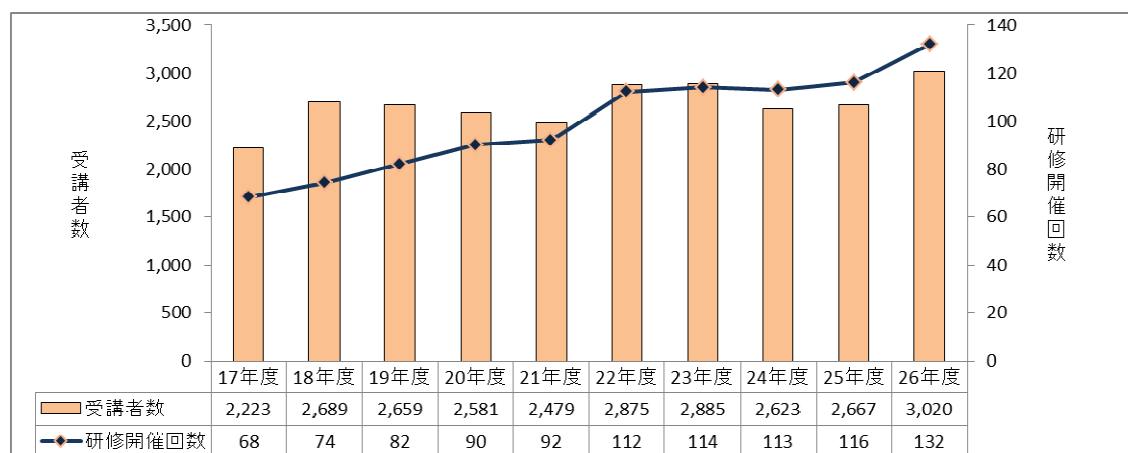
① 研修

経営環境の変化に対応できる人材の育成を目的に、総合的かつ体系的に新入社員から経営者までの各層に合わせた総合力強化研修や生産性向上研修など、132回実施した。

また、申込者数が定員を大幅に超えた新入社員教育（生産）研修や原価管理研修などについては同テーマの研修を追加した。平成26年度は企業や受講者のニーズに応え、新たに地域に

密着した県内3地域で受講できる5Sをテーマにしたサテライト研修や営業実務を半日で学べるコンパクト研修のほか、ISO9001(2015)改定解説セミナーを実施した。

研修受講者数と開催回数の推移



※オーダーメイド出前研修及び通信教育を除く

ア 総合力強化研修

(ア) 新入社員研修

新入社員を対象に、企業人としての自覚を促すとともに、仕事への取り組み方、職場の人間関係、自己啓発の進め方、企業人としての基本行動等について学ぶ研修を18回開催した。

(イ) 中堅社員研修

中堅社員を対象に、その果たすべき役割と責任を認識させるとともに、仕事の管理、問題解決、リーダーシップ等の能力向上について学ぶ研修を8回開催した。

(ウ) 管理者研修

新任管理監督者及び管理監督者を対象に、管理監督者として必要な知識、役割、リーダーシップのあり方等について具体例を通して習得する研修を3回開催した。

(エ) 経営者研修

新たな経営ビジョンや経営戦略策定に必要なマネジメント能力の向上とともに、経営者として自己革新が図れるよう、実践的な経営ノウハウを学ぶ研修を1回開催した。

イ 生産力向上研修

生産現場における効率化や品質向上、安全作業などの基礎的なスキルを習得する研修を23回開催した。

ウ 実務スキル向上研修

業種業態にかかわらず実務のスキルアップに役立つ知識や技法を習得する研修を32回開催した。

エ 技能研修

県立高等技術専門校と連携し、旋盤操作や切削技術向上、設計図解読など、中小企業の製造現場で働く若手社員を対象にした技能研修を18回開催した。

オ サテライト研修

5Sといった人気の高いテーマの研修を川越・熊谷・春日部の3地域で12回開催した。

カ コンパクト研修

忙しい営業部門や管理職、経営者にも受講しやすいようにテーマを絞ってコンパクト（3時間）にまとめた営業実務に関する研修を17回開催した。

キ 特別研修

(ア) オーダーメイド出前研修

個別企業のニーズに合わせた研修カリキュラムを設計し実施する出前研修を28回（39日間：延べ受講者783名）開催した。

(イ) 通信教育

社員の自己啓発及び業務遂行能力の向上を図る通信教育を（株）日本能率協会マネジメントセンターと提携実施し、38名が受講した。

平成26年度 研修実施実績

分類		回数（回）	総日数（日）	受講者数（人）	
通	総合力強化 研修	新入社員研修	18	32	637
		中堅社員研修	8	15	248
		管理者研修	3	7	84
		経営者研修	1	1	11
		（小計）	30	55	980
常	生産力向上 研修	生産管理	6	12	194
		現場改善	8	14	238
		品質管理	6	11	189
		工場視察	3	3	108
		（小計）	23	40	729
研	実務スキル 向上研修	ISO	15	34	376
		企業会計	2	4	38
		技法取得	12	14	276
		人事・労務	3	5	50
		（小計）	32	57	740
修	技能研修	18	48	126	
	サテライト研修	12	12	130	
	コンパクト研修	17	17	315	
	通常研修 合計	132	229	3,020	
特研 別修	出前研修	28	39	783	
	通信教育	—	—	38	
	特別研修 合計	28	39	821	
合計		160	268	3,841	

② 明日を担うものづくり人材育成事業

埼玉県教育局等と連携を図りながら、将来のものづくりを担う人材の育成を図った。

ア 第24回埼玉県産業教育フェア

埼玉県教育委員会、埼玉県産業文化センター等との共催により開催した。当日は、企業3社

が体験コーナーに出展し、子供たちにもものづくりの楽しさを体験するイベントを実施した。

期 日：11月8日、9日

場 所：大宮ソニックシティ地下1階展示場、鐘塚公園、大宮駅西口イベントスペース

来場者数：約20,000名

イ 高校生ものづくりコンテスト

県内の工業高校生を対象に埼玉県工業教育研究会が実施する「ものづくりコンテスト」に協賛し、上位入賞者に理事長賞を授与した。

開催日	部 門	会 場
6月14日	旋盤作業	ものづくり大学（行田市）
6月21日	電気工事	電気工事工業組合会館（さいたま市）
7月13日	木材加工	日本工業大学（宮代町）
7月22日	電子回路	日本工業大学（宮代町）
8月 2日	化学分析	東洋大学川越キャンパス（川越市）
8月 8日	測量	県立いずみ高等学校（さいたま市）

（2）情報支援・IT活用サポート

① 中小企業情報提供事業

中小企業が直面している様々な経営課題などに関する情報等を収集・分析・加工し、インターネットや情報誌、セミナー等で迅速に提供した。

ア 月刊情報誌の発行

公社事業を広く紹介するのをはじめ、県内の企業紹介や法律、税制、国際化など経営に役立つ情報を幅広く、タイムリーに提供した。

情報誌「アクセス埼玉」の発行 12回

（A4判20ページ 3,000部発行）

イ アクセス埼玉文庫の発行

「現場改善 ムダ取りの基本」シリーズ1～5巻を合計992冊頒布した。

ウ 企業経営座談会の開催

開催日	内 容
11月11日	テーマ：「世界に飛ばたく埼玉の食品ブランド」 出席者：麻原酒造（株） CEO会長 麻原 健一 氏 蒟蒻屋本舗（株） 専務取締役 櫻井 裕也 氏 （有）桃太郎食品 代表取締役 小山 章 氏 弓削多醤油（株） 代表取締役 弓削多 洋一 氏 公社 生活サポート産業支援チーフコーディネーター 平沼 大二郎 月刊誌掲載：平成27年1月号

エ 賞与予測調査の実施

県内中小製造業を対象とした賞与予測調査を実施し、その結果を公表するとともに経営情報として提供した。

事業名	実績	概要
賞与予測調査の実施	2回	製造業 2,000社対象 有効回答率 夏季20.4% 冬季19.4%

オ 会員優待セミナーの開催

公社会員サービスの一環として、話題の最新情報や中小企業の経営課題にスポットを当てたセミナーを9回実施した。

開催日	テーマ	参加者
5月27日	中小企業のための知財ビジネス戦略	10名
6月30日	上司力向上セミナー	27名
9月16日	採用力向上セミナー	32名
9月24日	クラウド活用セミナー	12名
12月10日	クラウド型ビジネスソフトウェア導入セミナー	19名
12月11日	フードディフェンスセミナー	20名
2月17日	仕事を軸にしたリーダーシップ	29名
3月6日	特許明細書作成講習会	8名
3月18日	仕事を軸にしたリーダーシップ (追加)	36名

カ 公社会員等交流事業

公社会員企業相互の交流と企業間ネットワークづくりを促進するため、経営者、後継者、経営幹部が一堂に会する講演会及び情報交換会を実施した。

開催日	事業名	内容	参加者
2月25日	公社会員感謝の集い	テーマ：『いすみ鉄道復活秘話』 講師：いすみ鉄道(株) 代表取締役 鳥塚 亮 氏	100名

公社会員数の推移

(単位：社)

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
公社会員数	1,241	1,270	1,317	1,307	1,316

(平成26年度における入退会の状況)

新規入会	退会	会員数増
75	66	9

キ DVD・ビデオソフトの貸出

経営や技術、人材教育などに関するDVD・ビデオソフト等を整備し、企業への貸出サービスを行った。

事業名	貸出実績	新規購入状況
DVD・ビデオソフト貸出	81社 延べ661本	16本 5S、新入社員ビジネスマナー、 安全衛生管理、教える技術、 英語プレゼンテーション など

② IT活用サポート事業

中小企業の情報化を促進するため、ITコンサルティングやホームページ作成支援、IT関連セミナー、ビジネスソフト研修を実施した。

ア ITコンサルティング事業

県内中小企業をIT専門家とともに訪問し、企業ホームページのアクセス数向上やSEO対策等のテーマでコンサルティングを実施した。

実施数	14社 (延べ32回)
-----	-------------

イ ITセミナー

(ア) 地域連携ITセミナー事業

開催日	テーマ	参加者	共催
11月26日	ショッピングサイト、インターネット広告活用セミナー	10名	深谷商工会議所
3月12日	ショッピングサイト、インターネット広告活用セミナー	25名	秩父商工会議所

(イ) Webマーケティングセミナー

自社の商品やサービスの紹介ページを磨き上げ、「儲かるサイトに必要な基礎力」「儲かるサイトづくりの秘訣」を学ぶ実践的なセミナーを実施した。

実施数	8回 (参加者18社 23名)
-----	-----------------

ウ WEB販路開拓スタート支援事業

自社内でホームページの制作ができない企業にIT専門家を派遣し、ホームページ作成支援を行い、WEBによる販路開拓を推進した。

実施数	5社 (延べ7回)
-----	-----------

エ ITスキルアップ研修

利用頻度の高いビジネスソフト(表計算・プレゼンテーション・データベース)やインターネットを有効活用するための講座を11テーマ14回開催した。

講座名	回数	受講者数
エクセル関連(6テーマ)	9回	91名
パワーポイント	1回	9名
アクセス データベース	1回	6名
ホームページ作成関連(3テーマ)	3回	23名

オ バックリンク支援事業

公社ホームページにバックリンク専用サイトを構築し、中小企業のホームページのSEO対策を支援した。

リンク企業数 1,010社

③ 公社内IT管理事業

ア 公社内IT管理

大宮事務所と北与野事務所間のネットワーク、公社共通企業データベース及びグループウェア(サイボウズ)の管理・運用により、公社内の情報共有を推進した。

また、情報システムの運用管理に関する規程を定め、資産管理ソフトの導入により、情報セキュリティの強化を図った。

イ インターネット情報提供

公社実施事業をより積極的にPRするとともに企業経営に役立つ情報の提供に努めた。

公社ホームページ	アクセス数 1, 883, 032 件/年
公社メールニュース	配信回数 24 回 (毎月 2 回) 登録者数 2, 228 名

5 創業・ベンチャー支援

創業予定者や新規創業者、ベンチャー企業の成長を支援するために「創業・ベンチャー支援センター埼玉」を運営し、利用者の各ステージに合わせた様々な相談業務を行った。

また、創業に必要な知識を体系的に学ぶためのセミナーの開催や、ベンチャー企業の成長を促進するためにビジネスマッチングを図った。

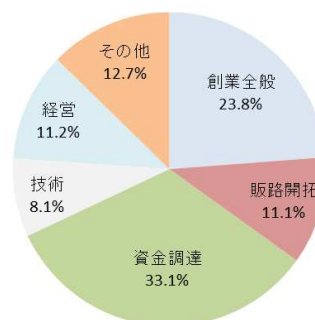
① 創業相談支援

創業前、創業時、創業後の相談者の各ステージごとの課題解決を図るため、経験豊富な開業アドバイザー（6人）などを配置して相談に対応するとともに、より専門的な相談に対しては、司法書士や税理士等の士業団体との連携による専門相談会を実施した。

ア 相談件数

	実績
相談件数	2, 160 件 (うち専門相談 58 件 COCOオフィス相談 135 件)

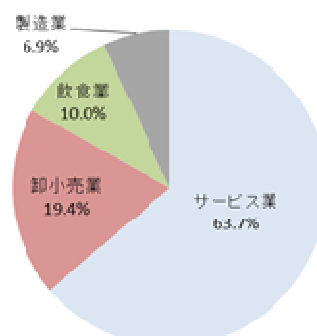
図1：相談内容区分



イ 公的融資申請支援件数

内容	申請受付件数
埼玉県制度資金	73 件
日本政策金融公庫	40 件

図2：創業者の業種区分



ウ 創業件数

創業件数	201 件
------	-------

② セミナー等の開催

創業までの心構えから創業後のマーケティング等まで、創業の各ステージに合わせたセミナー等を開催した。

内 容	開 催 日	参加者	備 考
創業するための必須実務入門セミナー	① 4月26日 ② 7月 5日 ③ 11月15日 ④ 1月31日	11人 14人 20人 23人	
創業準備セミナー	① 8月 2日 ② 1月17日	40人 34人	
創業入門1DAYセミナー	① 5月31日 ② 11月22日	29人 47人	
会社設立の基礎知識セミナー (商号・社会保険)	① 6月14日 ② 10月18日 ③ 2月14日	28人 25人 33人	
会社設立の基礎知識セミナー (定款作成)	① 7月10日 ② 11月20日 ③ 3月12日	24人 16人 25人	
マーケティング入門セミナー	① 6月28日 ② 11月29日	30人 39人	
ネットショップ開店セミナー	7月24日	48人	
プレゼンテーション力向上フォロー アップセミナー	① 9月18日 ② 9月25日	13人 11人	
資金計画表作成・創業者向け融資活 用セミナー	① 9月24日 ② 9月30日	19人 15人	
事業計画作成セミナー	① 10月 4日 ② 10月11日 ③ 2月21日 ④ 2月28日	30人 27人 39人 32人	
飲食業開業手続セミナー	12月 4日	27人	
創業者向けプレゼンテーション向上 セミナー	1月15日	12人	
会計ソフト体験セミナー (弥生会計編)	① 7月16日 ② 11月13日 ③ 1月15日	7人 7人 4人	
実践！確定申告準備セミナー	1月21日	6人	
ホームページ活用のための基礎知識 セミナー	3月 5日	54人	
女性創業セミナー	① 5月24日 ② 9月 6日 ③ 12月 6日	28人 39人 22人	
創べfacebookページ1000いいね 記念セミナー	3月 3日	25人	交流会

内 容	開 催 日	参加者	備 考
女性創業スタートアップ塾	① 1月31日	30人	
	② 2月 7日	27人	
	③ 2月14日	23人	
	④ 2月21日	23人	
	⑤ 2月28日	21人	
計	41回	1,027人	

③ 女性起業支援施設の運営

女性起業支援ルーム「COCOオフィス」を管理・運営し、アドバイザー（4人）を配置して利用者からの相談に対応するとともに実践的なセミナーを開催した。

- ア 利用者数 17名（3月31日現在）
イ 相談件数 135件
ウ COCOセミナー等（7テーマ） 8回 参加者数 59名
エ COCOオフィス1周年記念セミナー

開 催 日	テーマ	参加者
7月29日	起業力を高める！COCOで起業・目指す姿	40人

オ COCOオフィスプレゼン大会

開 催 日	内 容	参加者
3月19日	女性起業家（施設利用者等9人）によるプレゼン発表会及び交流会	21人

④ ベンチャー成長支援

ア 彩の国ベンチャーマーケットの開催

資金調達や販路開拓、事業提携などの課題を抱えるベンチャー企業を対象に、ベンチャーキャピタルや金融機関、大手企業、行政機関等との出会いの場を設け、ビジネスマッチングを図った。

開催日	事業名	支援企業数	来場者数
1月28日	彩の国ベンチャーマーケット	6社	83人

イ ベンチャー支援セミナーの開催

独創的なビジネスモデルや経営戦略を実践している起業家や経営者を講師に迎えたセミナーを開催した。

開催日	内 容	参加者	備 考
6月21日	【ビジネス交流会】 「論語」に学ぶ経営哲学	61人	共催：NPO法人さいたま起業家協議会
2月 6日	【「論語と算盤」塾】 知的障害者に導かれた企業経営から ～皆勤社会実現への提言～	65人	共催：新都心ビジネス交流プラザ運営協議会

⑤ 創業補助金埼玉県事務局運営

国の平成24年度及び平成25年度補正予算により創設された創業補助金の地域事務局を運営した。

平成25年度補正 応募・採択状況

区分	応募件数	採択件数
地域創業	300件	101件
第二創業	10件	4件
計	310件	105件

6 その他

(1) 投資育成事業

平成16年度に統合した(財)埼玉県創造的企業投資育成財団(SAFIC)の事業を引き継いで実施しており、地域中核企業投資育成事業の投資先企業2社、ベンチャー企業投資育成事業の投資先企業2社に対して経営支援を行った。

ア 投資先企業等への支援

事業名	実績	概要
経営力向上セミナー	1回	上場企業経営者の体験談や経営方針、東京証券取引所の新市場の説明と上場に関する研修会
フォローアップ事業	41回	地域中核企業16回、ベンチャー企業25回 個別訪問等によるフォローアップを実施

イ 投資概要

(平成26年度末現在)

事業名	企業数	投資残高
地域中核企業投資育成事業	2社	直接投資 2社 31,100千円

直接投資：SAFICが投資の可否を決定し、当該企業の社債を直接引き受け、又はSAFICが当該企業の第三者割当増資を引き受ける形式(株式投資)により投資したもの

(2) その他

① 職員の能力開発

公社職員の専門能力の向上を図るため、各種専門研修や公社実施の研修講座への参加を促した。

② 貸与事後処理

設備貸与事業の償却債権について、債務者又は連帯保証人に対して電話又は訪問による継続的な督促を行って回収に努めた。